

1月14日に成人の日を迎え、各地方でも様々な成人式が行われたと思います。福島県でも21,288人の方が成人式を迎えました。成人式の会場で、遺影を持ち参加する写真が新聞に掲載されていました。「亡き友の分までたくましく生きたい」「友に恥じない人間になる」と成人の抱負を言っています。また、他にも古里復興を願い、復興に向けて役立つ仕事をしていきたいと言う新成人が多かったのが印象的です。福島派遣に来てTV、新聞等を見ると皆が復興を願い、力を合わせている事を強く感じる事ができます。震災から1年と10か月、まだまだ、震災前の暮らしにはほど遠い暮らしですが、少しずつ復興へと近づいていきます。私も、微力ですが、力添えができたと思う日々を過ごしています。



参照福島民報

さて、続いてサポートピアでも新成人を迎える方達がありました。今年は3名の研修生さんが成人になります。午後の時間を使い、えんどう豆、ぴーなっつ、ビーンズの全員が集まり、新成人を祝いました。普段はあまり着ないスーツを着て、気持ちが引き締まっていくのが研修生さんの表情から伺えました。式では、職員からの歌のプレゼント、他の研修生からの祝いのメッセージやご家族への感謝の花束贈呈など、和やかな雰囲気で行われ、新成人になる研修生も楽しく過ごせる時間となりました。



この会では開会の言葉、祝いの言葉も研修生が考え、言います。プログラムを書くのも研修生さんたちです。こちらに来て、利用される皆さんの能力の高さに日々驚きます。「こんな事もできるのか」と毎日関心すると共に、一般就労の壁の高さを感じずにはられません。